

# 国労

# 蘇我運輸区分会ニュース

## ワンマン車輛、新たな落とし穴？

### ワンパンと

#### エアセクション

ワンマン運転に関しては、運行開始前から様々な点が危惧、指摘され、実際にトラブルや事故も多発している現状で、担当運転士は日々神経をすり減らして業務に当たっています。

そんな中、1月14日に



内房線内で発生した動物との衝突事故で新たな問題点(落とし穴?)が浮きぼりになりました。

当該ワンマン上り列車は17時20分頃、佐貫町々大貫間で動物とぶつかり、運悪くエアセクション内に停車してしまいました。基本的な考え方では、その区間に入

ってしま  
ったパン  
タグラフ  
(以下パン  
タ表記)は  
下げるし  
かなく、他  
のパンタ

を使うなどして、対処(脱出)を試みます。今回は2両編成でパンタがひとつ(以下、ワンパン表記)しかなく、それを下げたしまったら(基本的には)動かしようもありません。こうしたワンパン車輛であっても、対処方法はいくつかあるようですが、今回は更に運悪く、空気管破損、平坦な地形・等々、悪条件が重なってしまい、万事休すのお手上げとなり、約1時間後の後続列車(2両ワンマン列車)を救援列車として連結し、木更津駅まで運ばれました。

今後もあるよね?!

救援列車自体が非常にレアなケースで、それが2両編成車輛の連結となると、写真を撮れたマニアは喜んでくださるでしょう(苦笑)。

とは言いつものの、当該の運転士はたった一人で、動物とぶつかっただけで大変な気苦労となるのに、乗客や指令とのやり取りも含め、その精

## 議長会会長分拡大

1月14日(土)13時より県教育会館において開催され、出席した竜崎分会長よりレポートをいただきました。

この日のメインの議題は、組織再編に関する事で、冒頭、加藤委員長より「再編の最終提案」「その根拠(考慮した点)」などの提示があり「労働運動が冬の時代になっているが、闘うことを諦めては資本側の思い通りになってしまう。今こそ労働組合の重要性を訴えていかなければならない」とあいさつがありました。

当分会からは、先に地本から提案のあった運輸区で集まることで、意思統一出来ていること、他、会社施策を優先し計画性のない転勤を続けた結果、慢性的な要員不足が続いている旨と社員代表選挙の取り組み等の報告を行ないました。

他の分会からは、要員不足、65歳からの雇用について等々の報告がありました。

2月4日(土)に今後の運輸区分会としての合同会議を開催する予定です。

### エアセクションの簡単な説明

電氣的に絶縁させる必要のある2つの架線をオーバーラップさせるように接続する電車線区分装置。2つの架線の間には、絶縁体を入れたりしないので、「空気で絶縁されている接合部分」という意味でエアセクションと言われる。

架線がオーバーラップしているため、電力供給が途切れることはないが、架線間の電圧差が大きい場合はパンタグラフ(以下パンタ)や架線にかなりの電流が流れることになる。もしその区間で停止した場合には高熱が発生し、パンタや架線が損傷することがあるため、このエアセクション内で車輛を停めることは原則禁止されている。とは言いつものの「疑わしきは直ちに停車」ゆえ、現実的には難しく、今回のような事象が多発することとなる。対策も進められているが・・・。

神的な負担は半端なものではなかったはず。記事のタイトルは「新たな落とし穴」としましたが、会社は想定内の事象だったかもしれない。が、実際に起きてしまったことで、今後もしっかり分起こり得る事象として考えていかなければならず、運転士のフォロームも含め、ハード面での改善策を早急に考えなければなりません。